

北海道経済産業局管内百貨店・スーパー販売動向、2022年7月、8月売り上げ概況

【2022年7月】

《北海道経済産業局調べ》

【2022年8月】

百貨店販売額 14,241百万円 17.8%増
スーパー販売額 70,416百万円 0.5%増

百貨店販売額 12,136百万円 24.2%増
スーパー販売額 70,154百万円 1.3%減

管内百貨店・スーパー販売額 (単位:百万円、%)

管内百貨店・スーパー販売額 (単位:百万円、%)

7月	百貨店		スーパー		合計	
	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比
合計	14,241	17.8	70,416	0.5	84,657	3.1
衣料品計	4,688	24.7	2,807	▲0.6	7,496	13.8
紳士服・洋品	685	20.8	789	1.3	1,474	9.5
婦人・子供服・洋品	3,774	27.6	1,742	▲1.4	5,517	16.8
その他の衣料品	230	▲2.9	276	▲1.5	505	▲2.1
身の回り品	1,378	17.7	771	17.8	2,149	17.8
飲食料品	4,884	11.5	57,242	0.4	62,125	1.2
その他計	3,291	18.7	9,596	0.2	12,886	4.4
家具	119	25.0	41	9.1	160	20.4
家庭用電気機械器具	53	▲10.7	563	▲6.5	616	▲6.8
その他の家庭用品	339	10.2	1,043	▲0.8	1,383	1.7
その他の商品	2,485	18.6	7,876	0.3	10,361	4.2
食堂・喫茶	295	36.6	73	122.9	367	47.9
商品券(百万円)	95	▲1.7	246	9.4	341	6.0
売場面積(m ²)	206,522	▲0.1	1,235,982	▲0.8	1,442,504	▲0.7
従業員数(人)	2,536	1.4	29,675	▲0.1	32,211	0.0
営業日数(日)	31.0	0.0	30.6	▲0.3	30.6	▲0.3
売場面積1㎡当り販売額(万円)	6.9	17.9	5.7	1.3	5.9	3.8
従業員1人当り販売額(万円)	561.6	16.3	237.3	0.6	262.8	3.0
店舗数	13	0	327	1	340	1

8月	百貨店		スーパー		合計	
	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比	販売額	前年同月比
合計	12,136	24.2	70,154	▲1.3	82,291	1.7
衣料品計	3,807	32.0	2,009	1.0	5,815	19.4
紳士服・洋品	452	31.6	544	3.8	995	14.8
婦人・子供服・洋品	3,176	33.3	1,257	0.2	4,433	21.9
その他の衣料品	179	13.3	208	▲0.8	387	5.3
身の回り品	1,074	30.5	554	3.1	1,628	19.6
飲食料品	4,248	17.4	57,770	▲1.7	62,018	▲0.6
その他計	3,007	23.0	9,822	0.3	12,829	4.8
家具	102	7.9	32	▲1.2	134	5.6
家庭用電気機械器具	44	▲12.7	460	▲9.5	504	▲9.8
その他の家庭用品	252	14.9	1,067	▲2.2	1,319	0.7
その他の商品	2,326	22.0	8,209	0.9	10,536	4.9
食堂・喫茶	282	63.4	54	130.7	336	71.4
商品券(百万円)	55	9.6	252	▲4.4	307	▲2.2
売場面積(m ²)	206,522	▲0.1	1,228,396	▲1.5	1,434,918	▲1.3
従業員数(人)	2,523	0.4	29,923	▲1.1	32,446	▲1.0
営業日数(日)	31.0	0.0	30.9	0.1	30.9	0.1
売場面積1㎡当り販売額(万円)	5.9	24.3	5.7	0.1	5.7	3.0
従業員1人当り販売額(万円)	481.0	23.8	234.4	▲0.2	253.6	2.8
店舗数	13	0	326	▲1	339	▲1

《概況》

2022年7月の北海道地区百貨店・スーパー販売額は846億57百万円で全店ベースでは前年同月比3.1%増加となった。品目別にみると衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべて前年を上回った。なお、既存店ベースは同3.2%増加となった。

《百貨店の販売動向》

百貨店の販売額は142億41百万円で全店ベースでは同17.8%増加となった。品目別にみると衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべて前年を上回った。なお、既存店ベースは同17.8%増加となった。

《スーパーの販売動向》

スーパーの販売額は704億16百万円で全店ベースでは同0.5%増加となった。品目別にみると衣料品は前年を下回ったものの、身の回り品、飲食料品、その他は前年を上回った。なお、既存店ベースは同0.6%増加となった。

《概況》

2022年8月の北海道地区百貨店・スーパー販売額は822億91百万円で全店ベースでは前年同月比1.7%増加となった。品目別にみると衣料品、身の回り品、その他は前年を上回ったものの、飲食料品は前年を下回った。なお、既存店ベースでは同2.4%増加となった。

《百貨店の販売動向》

百貨店販売額は121億36百万円で全店ベースでは同24.2%増加となった。品目別にみると衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべて前年を上回った。なお、既存店ベースでは同24.2%増加となった。

《スーパーの販売動向》

スーパー販売額は701億54百万円で全店ベースでは同1.3%減少となった。品目別にみると衣料品、身の回り品、その他は前年を上回ったものの、飲食料品は前年を下回った。なお、既存店ベースでは同0.7%減少となった。

ひびやきTa~ihan

年明けから試してみませんか、日めくりカレンダー 役に立ちますよあ〜 …知らんけど ☺

毎年10月初旬より、書店・スーパーには翌年のカレンダーコーナーが設けられます。縁起の良さそうなキンピカな商品や、綺麗な風景物や動物物、他にも予定を入れ便利使いできるものなど様々です。通常のカレンダーもいいですが、私のお勧めは、日めくりカレンダーです。恒例となり今年も既に購入しています。立春・春分など1年を通した二十四節気や、大安・仏滅などがわかる六曜のほか、雑節、九星、月と潮の干満や、その日の善悪判断のアドバイスまで多彩。「日めくり」、言葉の如く、日々めくる動作も、いかにも「今日も一日終わりっ!」という感じで大事に過ごせる気がします。

もう一つ、掛け場所はトイレがお勧めです。腰を掛けて丁度目の高さあたりに吊っています。リビングの壁に掛けていてもチラ見するだけでは勿体ないと思う内容がトイレなら読めちゃうんです。風水的にはカレンダーの掛け場所としてトイレはNGとも言われますが、一度試してみてください。絶対役に立ちますよっ。翌年もまたトイレに日めくりをと思いますよ。。。「知らんけど! (^▽^)」

そこで…この「知らんけど」、…関西人が良く使う言葉ですが、ジャニーズWESTのヒット曲からなのか、このところ、関西に留まらないとか。逃げ場があって便利な言葉ですね、使ってみて下さい。きっと受けますよっ! 知らんけど(´▽`) …「知らんのかあい」

こんな事をつぶやいていたら、タイムリーな事に年末恒例の「2022ユーキャン新語・流行語大賞」(現代用語の基礎知識選)の候補30語の中に「知らんけど」がノミネートされているではありませんか。このワードが今頃…?とも思いますが、大賞は12月1日に発表されるようで、「大谷ルー」|「村神様」と競り合って、いい線までいく気がします! 知らんけど(´▽`) …